

音訳ボランティア養成講座

☎ ボランティアセンター 64-7100

と き 10月14日(日)・28日(日)、11月11日(日)・17日(土)、12月1日(土) 9:00~15:00 計5回

ところ 保健女性センター

内 容 視覚に障害を持った人に、音訳で情報を伝えるボランティアを養成します

定 員 20人(先着順) 受講料 無料
申し込み 9月20日~10月4日に電話でボランティアセンターへ

**ハピネスFUJI
出会い・ふれあいパーティー**

☎ 社会福祉協議会 64-6600

すてきな出会いのお手伝いをします。

と き 10月28日(日) 13:30~18:00

ところ ラ・ホール富士5階

定 員 男女各15人(先着順)

参加費 1,000円(当日持参)

申し込み・問い合わせ 9月26日、10月3日・10日の各水曜日の10:00~15:00に結婚相談所(吉原公民館)へ入会の上、申し込んでください ☎53-5319 (水曜日のみ)

家庭介護教室

☎ 保健女性センター 64-8993

と き 10月2日(火)・17日(水)・22日(月)・31日(水)、11月7日(水)・21日(水)・28日(水) 13:30~16:00 計7回

ところ 保健女性センター

内 容 介護の心構え、老人の食生活、床ずれ予防などの講話と実習

定 員 30人 受講料 無料
申し込み 9月19日から受け付けます。直接または電話で保健女性センターへ

富士市乳幼児医療費助成制度 通院対象拡大

☎ 児童福祉課 55-2763

通院の対象が3歳未満から4歳未満までになります(10月1日診療分より)

市では、小学校入学前の乳幼児が病気やけがで受診したとき、医療費の一部や入院時の食事療養費を助成しています。通院の場合、今まで3歳未満の人が助成の対象でしたが、10月1日以降の診療分からは4歳未満の人が対象となります。

制度改正により新たに通院の対象となるのは、平成9年10月2日から平成10年10月1日までの間に生まれた人です。新たに対象になった人に新しい受給者証を9月末に送付します。該当しているのに届かない場合は、児童福祉課へご連絡ください。



	通院の場合	入院の場合	
対象	0~4歳未満	0~3歳未満	3歳~小学校就学前
		1日からの入院	継続して8日以上入院
自己負担金	1回 500円 500円に満たない場合はその額。 1か月4回が限度で5回目以降は自己負担金なし	1日 500円	
	処方せん ^{ひやくせん} の交付により薬局へ行った場合は、薬局での自己負担金はありません		

ダイヤルお出かけ情報 ☎53-1111

ダイヤル施設案内 ☎52-1111

環境シリーズ No.39

豊かな水を守っていくために...

現在策定中の富士市環境基本計画の目標の1つ「豊かな水を守ろう」につながる取り組みとして、湧水や地下水の価値を再認識していただくことを目的に、「湧水源を歩こう」と題して、7月28日に湧水調査を行いました。

公募したところ、13組25人(うち小学生11人)の応募があり、3班に分かれて原田・吉永地区の湧水源8か所をめぐりました。

各湧水源では、気温、水温、pH導電率、硬度、流量などの項目や、水のわき方、水生生物の有無などを、参加者

の皆さんが交代で調査しました。



富士市は、地下水が非常に豊富です。紙・パルプ製造業をはじめとする富士市の産業は、この豊かな「水」によって発展してきました。また、富士市の水道は、すべて富士山や愛鷹山によってはぐくまれた地下水を水源としており、とても味がよいとされています。

しかし、地下水の過剰な採取や都市化の進行により、湧水の減少や地下水の塩水化が深刻な問題になりました。工業用水の整備や、くみ上げ量の抑制により、状況は改善されていますが、

完全に解決されたわけではありません。

富士市環境基本計画の「豊かな水を守ろう」という目標の中で、豊富な地下水を守っていくために、私たちがどう行動すべきかを示していきます。

- 皆さんも、日常生活の中で、
- 皿はふき取ってから洗う
 - 歯磨き、洗顔のときに水を出しっぱなしにしない
 - ふろの残り湯は洗濯に使う
 - 石けん、洗剤は適量を使う
 - 雨水をためて植木の水やりに使うなど、水を守るための行動を心がけましょう。

問い合わせ ☎ 環境保全課 55-2776